

ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間とクローズド期間	信託期間は2013年10月21日から2023年11月10日までです。クローズド期間はありません。なお、受益者に有利であると認めるときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運用方針	主として、世界の投資適格格付けの公社債を主な投資対象とするベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券に投資を行い、インカム・ゲインの確保と信託財産の成長を目指します。また、マザーファンド受益証券を通じて、為替変動リスクのヘッジ目的および円ベースでの投資収益の確保を目的として、外国為替の予約取引を機動的に行います。 マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用指図に関する権限を委託しています。	
主要運用対象	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	BAMワールド・ボンド & カレンシー・ファンド（1年決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ベアリング ワールド・ボンド & カレンシー・マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使により取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年1回決算（原則として11月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）を行い、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、基準価額水準、市況動向等を勘案するとともに、信託財産の成長にも留意し、委託会社が分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

BARINGS

運用報告書（全体版）

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド （1年決算型） 〈愛称〉ウィンドミル1年

追加型投信／海外／債券

（決算日 2020年11月10日）

第8期

運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリングス・ジャパン株式会社 営業本部

電話番号：03-4565-1040

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階

<https://www.barings.com/jp/individual>

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）」（愛称：ウィンドミル1年）は、2020年11月10日に第8期決算を行いました。ここに謹んで期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）〈愛称〉ウィンドミル1年の運用状況のご報告	
最近5期の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
当期の運用経過	2
今後の運用方針	6
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	9
利害関係人との取引状況等	9
組入資産の明細	9
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	11
分配金のお知らせ	12
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの運用状況のご報告	13

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 込 配 金		期 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金				
	円		円	%	%	%	百万円
4期(2016年11月10日)	10,800		0	1.4	98.7	—	11,994
5期(2017年11月10日)	10,464		0	△3.1	98.9	—	15,691
6期(2018年11月12日)	10,012		0	△4.3	99.7	—	14,658
7期(2019年11月11日)	10,807		0	7.9	99.5	△24.8	14,935
8期(2020年11月10日)	10,954		0	1.4	97.2	△15.7	13,236

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。(以下同じ)

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率(=買建比率-売建比率)は、親投資信託への投資割合に応じて算出した当ファンドベースの比率です。(以下同じ)

(注5) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注6) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注7) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

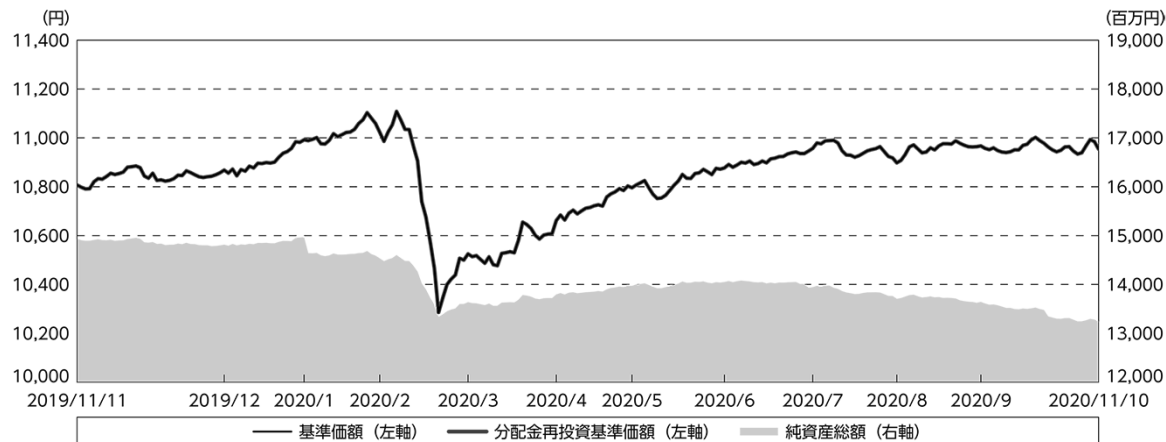
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首)	円	%	%	%
2019年11月11日	10,807	—	99.5	△24.8
11月末	10,885	0.7	99.2	△24.2
12月末	10,868	0.6	98.8	△24.8
2020年1月末	10,992	1.7	96.1	△24.2
2月末	11,023	2.0	95.8	△24.0
3月末	10,525	△2.6	94.6	△15.7
4月末	10,662	△1.3	96.7	△19.4
5月末	10,796	△0.1	97.4	△17.6
6月末	10,877	0.6	98.1	△18.1
7月末	10,957	1.4	97.7	△18.7
8月末	10,898	0.8	98.2	△19.1
9月末	10,967	1.5	97.0	△19.4
10月末	10,946	1.3	95.4	△15.5
(期 末)				
2020年11月10日	10,954	1.4	97.2	△15.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○当期の運用経過

(2019年11月12日～2020年11月10日)

■ 期中の基準価額等の推移



期首：10,807円

期末：10,954円 (既払分配金：0円)

騰落率： 1.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年11月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記既払分配金は、期中の分配金(税込み)合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」における期中の基準価額は3.0%の上昇となりました。

上昇要因

■金利低下により保有していた米国、カナダ、ニュージーランド、メキシコ、オーストラリア等の債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

■為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。

■ 投資環境（2019年11月12日～2020年11月10日）

◎債券市場

当期前半は、2020年に入り、米国とイランの間で緊張が高まったこと、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、各国の中央銀行が利下げ、量的金融緩和策等、金融緩和姿勢を強化したことを受け、欧米の長期金利は大幅に低下しました。

当期後半は、各国の中央銀行が金融緩和姿勢を維持する一方、経済活動再開への期待感の高まり、米国の追加財政刺激策への期待感などを背景に、米国の長期金利は上昇基調で推移しました。インフレの低迷、欧州復興基金の合意などを背景に、欧州周縁国を中心として欧州の長期金利は低下基調で推移しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の1.9%から当期末1.0%へ低下、ドイツでは-0.2%から-0.5%へ低下しました。

◎為替市場

為替市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な金融緩和策を実施したこと、米国大統領選挙を巡る不透明感などを背景に米ドル安が進行し、米ドルは対円で下落しました。ユーロは、経済活動再開への期待感、欧州復興基金の合意などを背景に、主要通貨に対してユーロ高が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の109円台前半から当期末の105円台前半へ米ドル安・円高が進行しました。

■ 当ファンドのポートフォリオ（2019年11月12日～2020年11月10日）

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組みました。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

<デュレーション>

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う供給制約と需要消滅の両面で実体経済に強い下押し圧力が掛かると予想しました。景気下支えのために中央銀行は金利を低位に安定させる金融政策を続けるものと予想し、長めのデュレーション*を維持する方針としました。景気後退懸念が高まる中、国債金利は急速に低下している一方、地方債等の非国債の金利低下が出遅れており、金融市場が落ち着きを取り戻すにつれて非国債の金利低下余地は大きいものと判断し、配分増加を検討しました。ファンドのデュレーションについては、期初の段階ではポートフォリオ全体で約6.4年とし、当期中の金利の上下動に応じて機動的に調整し、期末時点で約6.9年としました。また、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<国別配分>

期初は、米国、オーストラリア、ニュージーランド、ユーロ圏、カナダ等への厚めの配分とし、新興国ではメキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。期中の金利低下局面でユーロ圏、英国、ノルウェー、米国、ニュージーランド、デンマーク（全売却）等の利益確定を図り、カナダ（地方債）、イスラエル（新規組み入れ）、オーストラリア（地方債）等へ入れ替えを実施しました。カナダは、中央銀行により量的金融緩和策の一環として地方債の買い取りが実施される中、信用力と比べてスプレッドの水準が魅力的であることから、地方債を中心に配分を増加しました。イスラエルは、インフレの安定性や国内ハイテク産業の競争優位性、イスラエル沖で開発が進む天然ガス田による対外収支の安定などを高く評価し、新規投資を決定いたしました。デンマークでは、マイナス金利が一段と進む中、利益確定を図り全売却しました。新興国では、メキシコの配分を一部減少させたものの、期末時点では、メキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。

<通貨別配分>

当期は、世界経済の先行き、新型コロナウイルスの動向など様々な不確実性が依然として残ることから、円高への警戒感を高め、期末時点では円ウェイトを約96%としました。また、円以外の通貨では、米ドル、ノルウェークローネを買い持ちからほぼ中立に転換、デンマーククローネ（ポジションを解消）、ユーロ、スウェーデンクローネを売り持ちからほぼ中立に転換し、期末時点ではニュージーランドドル、カナダドルなどを買い持ち、英ポンドなどを売り持ちとしました。新興国通貨では、メキシコペソ高が進行した局面でメキシコペソの買い持ち幅を縮小、ポーランドズロチを買い持ちからほぼ中立に転換し、新興国通貨全体のエクスポージャーはネットで買い持ちとしました。

* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【組入債券の種別構成】

期末（2020年11月10日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	地方債証券	50.5
2	国債証券	27.0
3	特殊債券	16.2
4	普通社債券	2.7

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の上位5銘柄】

期末（2020年11月10日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	9.0
2	ニュージーランド地方自治体資金調達機関債	4.5	2027年4月15日	ニュージーランド	8.2
3	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	5.1
4	カナダ・オンタリオ州政府債	5.6	2035年6月2日	カナダ	4.4
5	イスラエル国債	5.5	2042年1月31日	イスラエル	3.8

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2020年11月10日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	カナダドル	21.5
2	米ドル	18.5
3	オーストラリアドル	16.9
4	ニュージーランドドル	12.2
5	ユーロ	8.3

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 分配金（2019年11月12日～2020年11月10日）

基準価額の水準および市況動向等を勘案して収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第8期
	2019年11月12日～ 2020年11月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,329

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（1年決算型）>

引き続き、「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」を高位に組入れて運用を行います。

<ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド>

新型コロナウイルスの感染拡大前への原状回復には時間を要し、ゼロ金利制約に直面する中央銀行は低金利の長期維持を表明し、金融緩和効果を検出するものと予想します。金利の低下余地を見極めるべく、長めのデュレーションを維持しつつ、依然として妙味が残る地方債への厚めの配分を維持し、キャリア収益の確保を図る方針です。

国別では、ヘッジコストの効率化やロールダウン効果の最大化による収益向上にも配慮し、オーストラリア、ニュージーランド、カナダでは金融政策等を睨んだ満期構成戦略を実施します。また、債券先物取引を活用し、今後も機動的かつ効率的な金利リスク管理を適宜実行します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、80%～100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、金利上昇と資源国通貨高が連動するシナリオに備え、ニュージーランドドル、カナダドルなどの買い持ちポジションを維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月12日～2020年11月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	173	1.591	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(83)	(0.768)	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(83)	(0.768)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	5	0.049	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.041)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	178	1.643	
期中の平均基準価額は、10,866円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) 売買委託手数料および(c) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は期末の税率を採用しています。

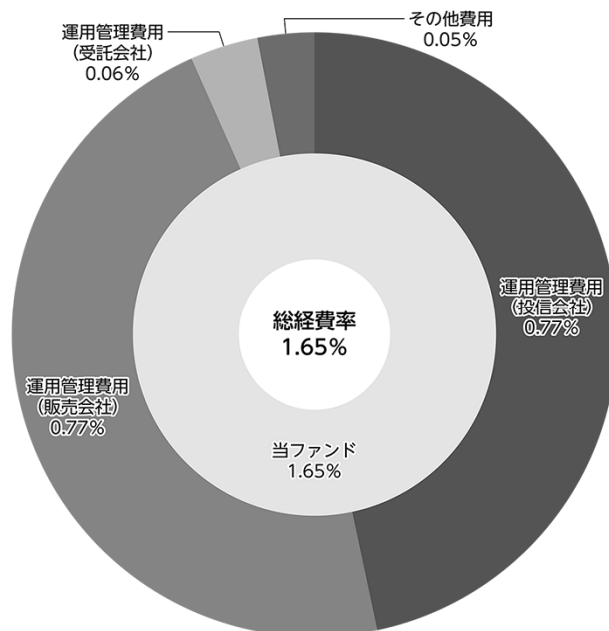
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月12日～2020年11月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 1,069,801	千円 1,295,702	千口 2,821,250	千円 3,429,263

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月12日～2020年11月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	千口 12,576,373	千口 10,824,924	千円 13,347,131

(注) 単位未満は切捨て。

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンドの運用報告書をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド	13,347,131	99.9
コール・ローン等、その他	14,260	0.1
投資信託財産総額	13,361,391	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（53,927,166千円）の投資信託財産総額（55,553,938千円）に対する比率は97.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=105.21円、1カナダドル=80.83円、1メキシコペソ=5.16円、1ユーロ=124.27円、1英ポンド=138.52円、1スウェーデンクローナ=12.19円、1ノルウェークローネ=11.62円、1ポーランドズロチ=27.69円、1オーストラリアドル=76.56円、1ニュージーランドドル=71.81円、1イスラエルシケル=31.23円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年11月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,361,391,681
ペアリングワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド(評価額)	13,347,131,496
未収入金	14,260,185
(B) 負債	124,669,368
未払解約金	14,260,185
未払信託報酬	110,046,837
その他未払費用	362,346
(C) 純資産総額(A-B)	13,236,722,313
元本	12,084,358,768
次期繰越損益金	1,152,363,545
(D) 受益権総口数	12,084,358,768口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,954円

(注) 期首元本額	13,820,420,418円
期中追加設定元本額	1,193,226,185円
期中一部解約元本額	2,929,287,835円

○損益の状況（2019年11月12日～2020年11月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	397,284,611
売買益	477,005,736
売買損	△ 79,721,125
(B) 信託報酬等	△ 225,135,843
(C) 当期損益金(A+B)	172,148,768
(D) 前期繰越損益金	139,493,094
(E) 追加信託差損益金	840,721,683
(配当等相当額)	(1,257,274,787)
(売買損益相当額)	(△ 416,553,104)
(F) 計(C+D+E)	1,152,363,545
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,152,363,545
追加信託差損益金	840,721,683
(配当等相当額)	(1,259,884,577)
(売買損益相当額)	(△ 419,162,894)
分配準備積立金	1,555,529,887
繰越損益金	△1,243,888,025

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における親投資信託の投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託するために要する費用(投資顧問料)として委託者報酬の中から支弁している額は、23,594,979円です。

(注5) 分配金の計算過程 (単位:円)

	当 期
(a) 配当等収益(費用控除後)	327,821,714
(b) 有価証券売買等損益(費用控除後)	0
(c) 収益調整金	1,259,884,577
(d) 分配準備積立金	1,227,708,173
分配可能額(a+b+c+d)	2,815,414,464
(1万口当たり)	2,329
収益分配金額	0
(1万口当たり)	0

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

普通分配金ならびに換金時（解約）および償還時の差益（譲渡益）に対する税率について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の額に対し2.1%の金額が復興特別所得税として徴収されます。

個人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては20.315%（所得税、復興特別所得税および地方税）となります。

※個人の受益者が有する当該受益権のうち、NISA（ニーサ、少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（ジュニアニーサ、未成年者少額投資非課税制度）の適用を受けているものについては非課税となります。

法人の受益者

2014年1月1日から2037年12月31日までについては15.315%（所得税および復興特別所得税（地方税は課せられません））となります。

※税法が改正された場合等には上記内容が変更になる場合があります。

※課税上の取扱いの詳細については、販売会社・税務署等にお問い合わせください。

運用報告書

ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド

第8期（決算日 2020年11月10日）

「ベアリング ワールド・ボンド&カレンシー・マザーファンド」は、2020年11月10日に第8期の決算を行いました。
ここに当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

ベアリングス・ジャパン株式会社

東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン7階
<https://www.barings.com/jp/individual>

★当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2013年10月15日から無期限です。
運用方針	インカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	世界の投資適格格付けの公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使より取得した株券に限るものとし、その投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
4期(2016年11月10日)	11,414	3.0%	98.1%	—	120,222
5期(2017年11月10日)	11,234	△1.6%	98.1%	—	103,446
6期(2018年11月12日)	10,921	△2.8%	98.9%	—	74,163
7期(2019年11月11日)	11,972	9.6%	98.7%	△24.6%	66,431
8期(2020年11月10日)	12,330	3.0%	96.4%	△15.6%	54,892

(注1) 基準価額は1万円当たり。(以下同じ)

(注2) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。(以下同じ)

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。(以下同じ)

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注5) 純資産総額の単位未満は切捨て。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円		%			%			%
	2019年11月11日		11,972		—			98.7			△24.6
	11月末		12,068		0.8			99.2			△24.2
	12月末		12,066		0.8			98.6			△24.7
	2020年1月末		12,220		2.1			95.7			△24.1
	2月末		12,269		2.5			95.3			△23.9
	3月末		11,735		△2.0			94.0			△15.6
	4月末		11,902		△0.6			95.9			△19.3
	5月末		12,066		0.8			97.3			△17.6
	6月末		12,173		1.7			97.9			△18.1
	7月末		12,279		2.6			97.4			△18.6
	8月末		12,230		2.2			97.8			△19.0
	9月末		12,323		2.9			96.4			△19.2
	10月末		12,316		2.9			94.7			△15.4
	(期 末)										
	2020年11月10日		12,330		3.0			96.4			△15.6

(注) 騰落率は期首比です。

■ 当期の運用経過（2019年11月12日～2020年11月10日）

○ 基準価額の主な変動要因

期中の基準価額は3.0%の上昇となりました。

上昇要因

■ 金利低下により保有していた米国、カナダ、ニュージーランド、メキシコ、オーストラリア等の債券価格が上昇したこと、保有債券からの利息収入が、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

■ 為替ヘッジに伴うヘッジコスト等が基準価額の下落要因となりました。



■ 投資環境（2019年11月12日～2020年11月10日）

◎ 債券市場

当期前半は、2020年に入り、米国とイランの間で緊張が高まったこと、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、各国の中央銀行が利下げ、量的金融緩和策等、金融緩和姿勢を強化したことを受け、欧米の長期金利は大幅に低下しました。

当期後半は、各国の中央銀行が金融緩和姿勢を維持する一方、経済活動再開への期待感の高まり、米国の追加財政刺激策への期待感などを背景に、米国の長期金利は上昇基調で推移しました。インフレの低迷、欧州復興基金の合意などを背景に、欧州周縁国を中心として欧州の長期金利は低下基調で推移しました。

当期の債券市場の動きを10年国債利回りで見ると、米国では当期首の1.9%から当期末1.0%へ低下、ドイツでは-0.2%から-0.5%へ低下しました。

◎ 為替市場

為替市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な金融緩和策を実施したこと、米国大統領選挙を巡る不透明感などを背景に米ドル安が進行し、米ドルは対円で下落しました。ユーロは、経済活動再開への期待感、欧州復興基金の合意などを背景に、主要通貨に対してユーロ高が進行しました。当期の米ドル・円相場は、当期首の109円台前半から当期末の105円台前半へ米ドル安・円高が進行しました。

■ 当ファンドのポートフォリオ（2019年11月12日～2020年11月10日）

<デュレーション>

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う供給制約と需要消滅の両面で実体経済に強い下押し圧力が掛かると予想しました。景気下支えのために中央銀行は金利を低位に安定させる金融政策を続けるものと予想し、長めのデュレーション*を維持する方針としました。景気後退懸念が高まる中、国債金利は急速に低下している一方、地方債等の非国債の金利低下が出遅れており、金融市場が落ち着きを取り戻すにつれて非国債の金利低下余地は大きいものと判断し、配分増加を検討しました。ファンドのデュレーションについては、期初の段階ではポートフォリオ全体で約6.4年とし、当期中の金利の上下動に応じて機動的に調整し、期末時点で約6.9年としました。また、国債先物の売りを実施し、金利変動リスクの機動的な調整を図りました。

<国別配分>

期初は、米国、オーストラリア、ニュージーランド、ユーロ圏、カナダ等への厚めの配分とし、新興国ではメキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。期中の金利低下局面でユーロ圏、英国、ノルウェー、米国、ニュージーランド、デンマーク（全売却）等の利益確定を図り、カナダ（地方債）、イスラエル（新規組み入れ）、オーストラリア（地方債）等へ入れ替えを実施しました。カナダは、中央銀行により量的金融緩和策の一環として地方債の買い取りが実施される中、信用力と比べてスプレッドの水準が魅力的であることから、地方債を中心に配分を増加しました。イスラエルは、インフレの安定性や国内ハイテク産業の競争優位性、イスラエル沖で開発が進む天然ガス田による対外収支の安定などを高く評価し、新規投資を決定いたしました。デンマークでは、マイナス金利が一段と進む中、利益確定を図り全売却しました。新興国では、メキシコの配分を一部減少させたものの、期末時点では、メキシコ、ポーランド中心の厳選配分としました。

<通貨別配分>

当期は、世界経済の先行き、新型コロナウイルスの動向など様々な不確実性が依然として残ることから、円高への警戒感を高め、期末時点では円ウェイトを約96%としました。また、円以外の通貨では、米ドル、ノルウェークローネを買い持ちからほぼ中立に転換、デンマーククローネ（ポジションを解消）、ユーロ、スウェーデンクローネを売り持ちからほぼ中立に転換し、期末時点ではニュージーランドドル、カナダドルなどを買い持ち、英ポンドなどを売り持ちとしました。新興国通貨では、メキシコペソ高が進行した局面でメキシコペソの買い持ち幅を縮小、ポーランドズロチを買い持ちからほぼ中立に転換し、新興国通貨全体のエクスポージャーはネットで買い持ちとしました。

* 「金利変動に対する債券価格の感応度」を示すもので、デュレーションが大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【組入債券の種別構成】

期末（2020年11月10日現在）

No.	種 別	比率 (%)
1	地方債証券	50.5
2	国債証券	27.0
3	特殊債券	16.2
4	普通社債券	2.7

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

期末（2020年11月10日現在）

No.	通 貨	比率 (%)
1	カナダドル	21.5
2	米ドル	18.5
3	オーストラリアドル	16.9
4	ニュージーランドドル	12.2
5	ユーロ	8.3

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

【組入債券の上位5銘柄】

期末（2020年11月10日現在）

No.	銘柄名	クーポン(%)	償還日	国(地域)	比率(%)
1	オーストラリア・クイーンズランド州財務公社債	6.5	2033年3月14日	オーストラリア	9.0
2	ニュージーランド地方自治体資金調達機関債	4.5	2027年4月15日	ニュージーランド	8.2
3	オーストラリア・ニューサウス・ウェールズ州財務公社債	6.0	2030年5月1日	オーストラリア	5.1
4	カナダ・オンタリオ州政府債	5.6	2035年6月2日	カナダ	4.4
5	イスラエル国債	5.5	2042年1月31日	イスラエル	3.8

※比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 今後の運用方針

新型コロナウイルスの感染拡大前への原状回復には時間を要し、ゼロ金利制約に直面する中央銀行は低金利の長期維持を表明し、金融緩和効果を捻出するものと予想します。金利の低下余地を見極めるべく、長めのデュレーションを維持しつつ、依然として妙味が残る地方債への厚めの配分を維持し、キャリー収益の確保を図る方針です。

国別では、ヘッジコストの効率化やロールダウン効果の最大化による収益向上にも配慮し、オーストラリア、ニュージーランド、カナダでは金融政策等を睨んだ満期構成戦略を実施します。また、債券先物取引を活用し、今後も機動的かつ効率的な金利リスク管理を適宜実行します。

通貨配分については、ポートフォリオの対円での為替ヘッジ比率は、80%~100%でコントロールする方針とし、円高が予想される局面ではヘッジ比率を引き上げ、円安が予想される局面ではヘッジ比率の引き下げを検討します。円以外の通貨の主要なポジションとしては、金利上昇と資源国通貨高が連動するシナリオに備え、ニュージーランドドル、カナダドルなどの買い持ちポジションを維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月12日～2020年11月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.043 (0.041) (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用 信託事務の処理に要する諸費用
合 計	5	0.046	
期中の平均基準価額は、12,137円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 55,649	百万円 63,972

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月12日～2020年11月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年11月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	68,600	96,529	10,155,880	18.5	—	14.0	2.5	2.0
カナダ	千カナダドル 101,500	千カナダドル 146,269	11,822,951	21.5	—	21.3	0.2	—
メキシコ	千メキシコペソ 290,000	千メキシコペソ 469,231	2,421,237	4.4	—	3.6	0.8	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリア	14,000	18,364	2,282,168	4.2	—	4.2	—	—
スペイン	10,000	16,254	2,019,921	3.7	—	3.7	—	—
インドネシア	1,000	1,060	131,738	0.2	—	—	0.2	—
ペルー	1,000	1,120	139,219	0.3	—	0.3	—	—
イギリス	千英ポンド 20,700	千英ポンド 29,430	4,076,776	7.4	—	6.6	0.3	0.6
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 35,000	千スウェーデンクローナ 54,299	661,904	1.2	—	1.2	—	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 13,500	千ノルウェークローネ 14,689	170,694	0.3	—	0.3	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 25,000	千ポーランドズロチ 34,625	958,766	1.7	—	1.7	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 80,000	千オーストラリアドル 121,104	9,271,797	16.9	—	16.9	—	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 76,007	千ニュージーランドドル 93,044	6,681,517	12.2	—	9.2	3.0	0.0
イスラエル	千イスラエルシェケル 40,000	千イスラエルシェケル 67,088	2,095,178	3.8	—	3.8	—	—
合 計	—	—	52,889,754	96.4	—	86.8	7.0	2.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ						
国債証券	BELGIUM 8.875% 01DEC24	8.875	5,000	6,556	689,785	2024/12/1
	INDONESIA 5.875% 15JAN24	5.875	1,300	1,492	157,032	2024/1/15
	INDONESIA 5.950% 08JAN46	5.95	800	1,161	122,211	2046/1/8
	PERU 8.75% 21NOV33	8.75	3,800	6,418	675,340	2033/11/21
	PHILIPPINES 5.5% 30MAR26	5.5	3,400	4,216	443,565	2026/3/30
	PHILIPPINES 6.375% 23OCT34	6.375	1,000	1,468	154,479	2034/10/23
	POLAND 3.25% 06APR26	3.25	2,000	2,259	237,708	2026/4/6
	PORTUGAL 5.125% 15OCT24	5.125	2,000	2,322	244,360	2024/10/15
	US TRSY 4.75% 15FEB41	4.75	3,000	4,744	499,163	2041/2/15
	US TRSY 6.625% 15FEB27	6.625	1,000	1,370	144,203	2027/2/15
地方債証券	NOVA SCOTIA 8.25% 30JUL22	8.25	5,000	5,618	591,106	2022/7/30
	QUEBEC 7.50% 15SEP29	7.5	5,100	7,693	809,471	2029/9/15
	SASKATCHWN 9.375% 15DEC20	9.375	5,000	5,039	530,255	2020/12/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BK 6.22% 15AUG27	6.22	2,000	2,610	274,621	2027/8/15
	EIB 4.875% 15FEB36	4.875	6,500	9,462	995,597	2036/2/15
	HYDROQUEBEC 8.05% 07JUL24	8.05	2,000	2,507	263,811	2024/7/7
	HYDROQUEBEC 8.25% 15JAN27	8.25	2,000	2,853	300,172	2027/1/15
	HYDROQUEBEC 9.5% 15NOV30	9.5	7,000	12,116	1,274,751	2030/11/15
	HYDROQUEBEC 8.875% 01MAR26	8.875	3,000	4,210	442,955	2026/3/1
	HYDROQUEBEC 9.375% 15APR30	9.375	4,700	7,950	836,480	2030/4/15
普通社債券 (含む投資法人債券)	MICROSOFT INC 5.3% 08FEB41	5.3	3,000	4,455	468,805	2041/2/8
小計					10,155,880	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
地方債証券	ALBERTA 3.90% 01DEC33	3.9	3,000	3,681	297,612	2033/12/1
	BR COLUMBIA 5.7% 18JUN29	5.7	5,000	6,780	548,039	2029/6/18
	BR COLUMBIA 9.0% 23AUG24	9.0	1,000	1,310	105,942	2024/8/23
	BR COLUMBIA 6.35% 18JUN31	6.35	10,000	14,751	1,192,363	2031/6/18
	HYDROQUEBEC 5.75% 01DEC36	5.75	15,000	23,026	1,861,231	2036/12/1
	HYDROQUEBEC 6.25% 01JUN32	6.25	8,000	11,885	960,700	2032/6/1
	MONTREAL 6.00% 01JUN43	6.0	1,000	1,616	130,677	2043/6/1
	NEW BRUNSW 4.8% 26SEP39	4.8	5,000	6,956	562,322	2039/9/26
	ONTARIO 5.60% 02JUN35	5.6	20,000	29,646	2,396,334	2035/6/2
	ONTARIO 7.60% 02JUN27	7.6	15,000	21,178	1,711,833	2027/6/2
	OTTAWA 4.60% 14JUL42	4.6	3,000	4,120	333,050	2042/7/14
	SASKATCHWN 4.75% 01JUN40	4.75	7,000	9,859	796,915	2040/6/1
	TORONTO 4.70% 10JUN41	4.7	3,000	4,130	333,865	2041/6/10
特殊債券 (除く金融債)	RES FRANCE 4.70% 01JUN35	4.7	5,500	7,324	592,062	2035/6/1
小計					11,822,951	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
国債証券	MEXICO 10.0% 05DEC24	10.0	70,000	83,368	430,180	2024/12/5

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券	MEXICO 7.75% 29MAY31	7.75	100,000	112,954	582,845	2031/5/29
		MEXICO 8.50% 18NOV38	8.5	100,000	117,781	607,751	2038/11/18
		MEXICO UDIIL 4.5% 04DEC25	4.5	10,000	75,412	389,128	2025/12/4
		MEXICO UDIIL 4.5% 22NOV35	4.5	10,000	79,715	411,331	2035/11/22
小	計					2,421,237	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
イタリア	国債証券	ITALY 4.5% 01MAR26	4.5	10,000	12,283	1,526,408	2026/3/1
		ITALY 5.0% 01SEP40	5.0	2,000	3,270	406,412	2040/9/1
		ITALY 5.25% 01NOV29	5.25	2,000	2,811	349,347	2029/11/1
スペイン	国債証券	SPAIN 5.15% 31OCT28	5.15	3,000	4,236	526,519	2028/10/31
		SPAIN 5.15% 31OCT44	5.15	2,000	3,860	479,731	2044/10/31
		SPAIN 5.75% 30JUL32	5.75	5,000	8,157	1,013,670	2032/7/30
インドネシア	国債証券	INDONESIA 2.625% 14JUN23	2.625	1,000	1,060	131,738	2023/6/14
ペルー	国債証券	PERU 2.75% 30JAN26	2.75	1,000	1,120	139,219	2026/1/30
小	計					4,573,049	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	特殊債券 (除く金融債)	EIB 5.625% 07JUN32	5.625	8,000	12,283	1,701,468	2032/6/7
		EIB 6.00% 07DEC28	6.0	7,000	10,020	1,388,039	2028/12/7
	普通社債券 (含む投資法人債)	ELEC D FR 6.125% 02JUN34	6.125	1,000	1,499	207,710	2034/6/2
		FONTER GR 9.375% 04DEC23	9.375	1,000	1,241	171,917	2023/12/4
		GDF SUEZ 6.125% 11FEB21	6.125	2,200	2,231	309,101	2021/2/11
		P&G 5.25% 19JAN33	5.25	1,500	2,155	298,538	2033/1/19
小	計					4,076,776	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
	国債証券	SWEDEN 3.50% 30MAR39	3.5	35,000	54,299	661,904	2039/3/30
小	計					661,904	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	NORWAY 1.75% 06SEP29	1.75	10,000	10,852	126,100	2029/9/6
		NORWAY 2.00% 26APR28	2.0	3,500	3,837	44,594	2028/4/26
小	計					170,694	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	POLAND 5.75% 25APR29	5.75	25,000	34,625	958,766	2029/4/25
小	計					958,766	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	地方債証券	NEW S WLS 6.00% 01MAY30	6.0	25,000	36,871	2,822,882	2030/5/1
		QUEENSLAND 6.50% 14MAR33	6.5	40,000	64,676	4,951,594	2033/3/14
		VICTORIA TCV 5.50% 17NOV26	5.5	15,000	19,557	1,497,320	2026/11/17
小	計					9,271,797	
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	NEW ZEALAND 3.5% 14APR33	3.5	3,000	3,981	285,906	2033/4/14
		NEW ZEALAND 6.0% 15MAY21	6.0	7	7	517	2021/5/15
		NEW ZEALAND 2.75% 15APR37	2.75	3,000	3,783	271,679	2037/4/15
	地方債証券	NZ LGFA 2.75% 15APR25	2.75	10,000	11,059	794,149	2025/4/15

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
	地方債証券	NZ LGFA 4.50% 15APR27	4.5	50,000	62,498	4,488,010	2027/4/15
	特殊債券 (除く金融債)	RENTENBK 5.375% 23APR24	5.375	10,000	11,715	841,254	2024/4/23
小 計						6,681,517	
イスラエル				千イスラエルシェケル	千イスラエルシェケル		
	国債証券	ISRAEL 5.5% 31JAN42	5.5	40,000	67,088	2,095,178	2042/1/31
小 計						2,095,178	
合 計						52,889,754	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
			百万円	百万円
外 国	債券先物取引	CAN 10YR BON	—	604
		EURO-SCHATZ	—	697
		US 5YR NOTE	—	659
		LONG GILT	—	1,301
		EURO-BTP	—	278
		EURO-BOBL	—	840
		EURO-BUND	—	1,083
		US 2YR NOTE	—	1,161
		EURO BUXL 30	—	413
		US 10YR ULTR	—	492
		US ULTRA BON	—	443
		AUST 10Y BON	—	575

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注3) ー印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2020年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	52,889,754	95.2
コール・ローン等、その他	2,664,184	4.8
投資信託財産総額	55,553,938	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (53,927,166千円) の投資信託財産総額 (55,553,938千円) に対する比率は97.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.21円、1カナダドル=80.83円、1メキシコペソ=5.16円、1ユーロ=124.27円、1英ポンド=138.52円、1スウェーデンクローナ=12.19円、1ノルウェークローネ=11.62円、1ポーランドズロチ=27.69円、1オーストラリアドル=76.56円、1ニュージーランドドル=71.81円、1イスラエルシェケル=31.23円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月10日現在)

○損益の状況 (2019年11月12日~2020年11月10日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	121,657,524,961
コール・ローン等	1,259,407,278
公社債(評価額)	52,889,754,236
未収入金	66,592,282,200
未収利息	690,718,931
前払費用	39,703,589
差入委託証拠金	185,658,727
(B) 負債	66,765,069,399
未払金	66,680,763,040
未払解約金	84,303,162
未払利息	3,197
(C) 純資産総額(A-B)	54,892,455,562
元本	44,518,405,174
次期繰越損益金	10,374,050,388
(D) 受益権総口数	44,518,405,174口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,330円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,542,339,942
受取利息	2,532,139,093
その他収益金	11,158,793
支払利息	△ 957,944
(B) 有価証券売買損益	△ 155,556,690
売買益	11,017,485,186
売買損	△11,173,041,876
(C) 先物取引等取引損益	△ 562,633,820
取引益	292,179,782
取引損	△ 854,813,602
(D) 保管費用等	△ 26,209,226
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,797,940,206
(F) 前期繰越損益金	10,942,583,067
(G) 追加信託差損益金	344,639,769
(H) 解約差損益金	△ 2,711,112,654
(I) 計(E+F+G+H)	10,374,050,388
次期繰越損益金(I)	10,374,050,388

(注1) 期首元本額 55,489,311,436円

期中追加設定元本額 1,635,213,682円

期中一部解約元本額 12,606,119,944円

(注2) 期末における元本の内訳

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)

33,693,481,008円

BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)

10,824,924,166円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。